

“MADE IN SHIBUYA”

今も昔も新しい“ファッション 文化”を発信する街、渋谷。
渋谷ファッションウィークアンバサダー・チョーヒカルさんが語る“MADE IN SHIBUYA”

アンバサダー

チョーヒカル



体や物にリアルなペイントをする作品で注目され、
日本国内だけでなく海外でも話題となっている
新進気鋭のアーティスト、チョーヒカルさん。
日常と非日常が交錯する不思議な作品を生み出す彼女が
「懐かしい」と感じる渋谷への想いー

私にとって渋谷は、中学高校時代を過ごした青春の街です。たくさんの人に溢れエネルギーが充満しているこの街で、ファッションやアート、音楽や映画など、様々なカルチャーから刺激を受けて過ごしてきました。奥渋谷の方にある映画館や、猫がたくさんいる公園、ストリートアートなど、渋谷にはお気に入りの場所がたくさんあります。私にとってはとても懐かしい街ではありますが、日々変わり続け、どんどん景色が一変していく面白さも感じています。美しさにも妥協がない、そんなところにも刺激を受けています。

学生時代は進学校に通っており、常に勉強に追われるような生活でした。あと4年勉強するなら自分の好きなことをやろうと思い、子供の頃から絵を描くことが好きだったので美大に進学し、あとは流れに乗って進んでいたらいつのまにか今の環境になっていきました。「ファッション」は身に纏い、自分に自信を与えてくれる力があると思いますが、「アート」は言葉にするのが難しく、いい意味で不可解なもの。掴みきれない分、言葉ではできないコミュニケーションができていると思っています。私の作品は、自分との葛藤から生まれることが多く、あまり取り上げられないような感情を形にしています。昔、音楽を聴いて「私以外にもこういう気持ちの人がいるんだ」と思えたことで救われるような気持ちになったことがあり、私の作品もそういう存在になれたらいいなと思っています。今後はもっと良い作品を作りたいですし、ボディペイントや作品作りに限らず、ファッション、立体、動画、演技、大きな壁画など、ジャンルに拘らず面白いものには何でも挑戦して、もっとたくさんの人に深く届くような作品を作れるアーティストになりたいと思っています。

高校時代の友人と「20歳になったらのんべえ横丁で飲もうね!」と約束していたのですが、先日その夢が叶いました。学生時代から大人になった今も、渋谷は大切な思い出に溢れています。そんな街で、渋谷ファッションウィークのアンバサダーにご指名いただいて本当に嬉しいです。この街の魅力、面白さ、ユニークさを少しでも伝えられるよう頑張らせていただきます。

EXHIBITION INFORMATION

渋谷ファッションウィーク期間中、チョーヒカルさんの作品が展示されます!
是非、間近で作品をご覧ください。*展示場所については、公式WEBをご覧ください。



*展示写真はイメージです。

チョーヒカル (Hikaru Cho)

1993年3月29日、東京都生まれ。

武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科を卒業。体や物にリアルなペイントをする作品で注目され日本国内だけでなく海外でも話題となる。笑っていいともを含む多数のメディア出演に加え、Samsung、Amnesty International、資生堂、TOYOBOなど企業とのコラボレーションや、国内外での個展など多岐にわたって活動している。ペイントの他にもデザイン、イラスト、立体、漫画、映像作品などを制作。著書に「SUPER FLASH GIRLS 超閃光ガールズ」「ストレンジ・ファニー・ラブ」「絶滅生物図誌」がある。